

寒川町 平成20年度事務事業評価シート(平成19年度実施事業)

事務事業名	小児医療費助成事業			第2班	第5事業
主管課・担当名	子育て支援課子育て支援担当	根拠法令等	寒川町小児の医療費の助成に関する条例		
課長	高橋 京子	体系コード	32312-02	科目コード	01-03-02-01-004-01

【Plan - 計画】

(1)総合計画上の位置づけ

章	安心で生きがいのあるまちづくり
節	心のかよいあう福祉を充実します
項	児童福祉の充実
小項目	子育て環境の充実
細項目	子育て支援の充実
重点プロジェクト	<input checked="" type="checkbox"/> いきいき <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> にぎわい
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> ハード事業

(2)事務事業の概要

事業期間	開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 昭和	7年
	終了予定年度	-	
事業内容	小児が病院等で受診したとき(就学前=通院、入院 小学校入学以降中学校卒業まで=入院)に支払う医療費の保険診療分の自己負担額を町が負担する。		

(3)事務事業の目的

目的	対象(誰(何)のために)	町内在住の小児およびその小児の生計を維持している親、または父母に養育されていない小児を養育している人
	意図(どのような状態にしたいのか)	子育て支援対策の一環として、小児にかかる医療費の一部を町が負担することにより、その健全な育成支援を図り、小児の健康の増進に資すること。

(4)成果指標

成果指標(単位)、または数値化できない成果	助成対象者数					
成果指標等の設定理由	定量的な把握ができる指標として、助成対象者数が最も適していると思われるため。					
目標値設定の考え方	前年度実績を考慮					
目標値	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
	3,000	3,000	3,000	4,300	4,300	4,300

【Do - 実施】

(1)成果指標

年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
助成対象者数	3,000	3,044	3,000	3,071	3,000	/	4,300	/	4,300	/	4,300	/
数値化できない成果の達成状況												

(2)活動指標

年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
助成総額(単位:千円)	99,000	99,438	100,000	104,637	100,000	/	140,000	/	140,000	/	140,000	/
町広報掲載回数	1	1	1	1	1	/	1	/	1	/	1	/

(3)事業費 (単位:千円)

年度	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績
直接事業費	92,060	104,475	103,931	110,188	/	/	/	/	/	/	/	/
財源内訳	一般財源	77,719	87,744	88,163	91,371	/	/	/	/	/	/	/
	国県支出金	14,340	14,910	15,767	16,251	/	/	/	/	/	/	/
	使用料・手数料	0	0	0	0	/	/	/	/	/	/	/
	その他	1	1,821	1	2,566	/	/	/	/	/	/	/
執行率	113.5%		106.0%		/		/		/		/	
人件費	3,678	3,678	3,663	3,663	/	/	/	/	/	/	/	/
内訳	投入人員	0.5	0.5	0.5	0.5	/	/	/	/	/	/	/
	平均給与額	7,355	7,355	7,325	7,325	/	/	/	/	/	/	/
総事業費	95,738	108,153	107,594	113,851	/	/	/	/	/	/	/	/

【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
事業は順調に実施しているが、対象者数の増加に伴い医療費が増加している。また、窓口業務にかかる時間も増えているため事務の簡素化をはかりたい。町広報で制度のお知らせをする予定。	町広報、ホームページにより制度の周知をおこなった。また、医療証送付時に制度説明を記載したチラシを同封した。事務の簡素化については、取りかかることができなかった。

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	事務事業を実施する必要があるのか	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	乳幼児は受診機会が多く、各家庭における医療費負担も大きい。子育て支援策の一環として必要性は高い。
	町が主体となって実施する必要があるのか	<input type="checkbox"/> 町が行わなければならない <input checked="" type="checkbox"/> 町が行った方がよい <input type="checkbox"/> 町が行うべき必然性が低い	事務を実施する上では、町がおこなうべきだが実施にあたっては広域化も検討できる。
有効性	対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況)	<input type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input checked="" type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	ある程度、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られているが、対象者の拡充については検討する余地がある。
効率性	事業費に無駄はないか	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	県内統一の制度として実施されている事業であり、財源確保のため国庫補助を要望していく必要がある。今後、対象者の拡充により事務量が増大するために簡素化が必要である。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	所得制限について検討しなければならない。対象者を拡充することについて検討する余地がある。	対象者の拡充を何歳までにするか検討する。	小3まで対象者を拡充する。
効率性	国庫補助を要望していく必要がある。事務の簡素化が必要である。	国庫補助を要望していく。事務の簡素化を図る。	対象者の拡充により事務量が増大するために簡素化を図る。

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	子育て世帯の経済的負担を軽減するうえで、妥当な設定と考える。本制度の周知として妥当な設定と考える。
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	県補助金増により、町制度の拡大数値は妥当な設定と考える。
事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	対象者の拡充に伴う事務の簡素化

部長確認	菊川雅男	確認日	2008/10/15
------	------	-----	------------